



図書館だより 5月号

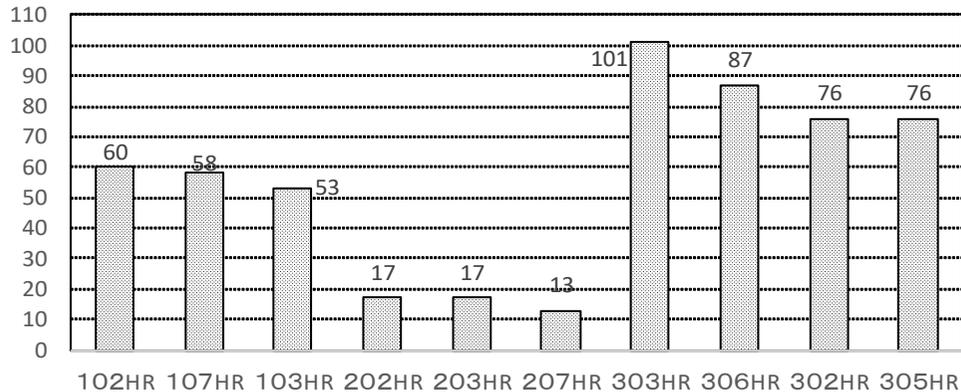
徳島北高等学校図書委員会

【図書委員長からのメッセージ】

みなさん、こんにちは。過ごしやすい季節となり、新年度のスタートから早くも1ヵ月がたちました。まだ新しい環境に慣れていない人も多いのではないのでしょうか。そういった、少し疲れがたまっているようなときこそ、本を開いてみましょう。少しの時間読むだけでも気分転換できます。

このたび、図書委員長になりました。私は図書館を気軽に利用できる場所にしたいと思っています。そして、私をはじめとする北高生に読書の習慣が根付いたらいいと思います。なぜなら、本はいろいろな人の知識や考えを通して自分にさまざまな影響を与えてくれるからです。それぞれの本やその著者との出会いは「一期一会」だと思います。少しの時間でも、本を探したり、読んだりする時間を大切にしてみてください。きっと自分にぴったりの本が見つかるはずです。

学年別クラス別貸出冊数BEST3(4月)



【メッセージ】

1年生のみなさん、4月の図書館オリエンテーションでの本校の図書館との出会いはどうでしたか。これからの3年間の高校生活で、さまざまな本や新聞記事との出会いをするため、積極的に図書館を活用してください。

3年生のみなさん、今月はクラス読書会があります。クラスみんなで同じ本を読んだり、面白かった本を紹介しあったりして、読書の楽しさに触れてください。自習する場所として図書館を利用する人もこれからは増えていくと思います。その時には、意識して自分の進路に役立つような本や、読んでおくべき本・雑誌等を探し借りることも忘れないでください。

これからも、みなさん一人ひとりの読書の大切さへの気づきの高まりをとおり、学校の図書館から借りる本も増えていくことを期待しています。

図書委員のおすすめ本(みなさんも読んでみてください。全て本校図書館所蔵)

『Arknoah I～僕のつくった怪物～』 乙一 著 集英社

106HR図書委員

いじめられっ子のアールとグレイは亡くなった父の書齋から見つかった「アークノア」という絵本が原因で「アークノア」という異世界に迷いこんでしまう。箱庭のような「アークノア」の世界で2人は家に帰るため、自分の心から生まれた怪物を倒すための冒険を始める。

展開が面白く、世界観に引きこまれやすい長編ファンタジーです。読書が苦手な人でも読みやすい本だと思います。現在2作目まで出ており、どちらも図書館で借りられるので、この際に借りてみてはいかがでしょうか。

『誰も死なないミステリーを君に』 井上悠宇 著 ハヤカワ文庫

205HR図書委員

これから寿命以外で死んでしまう人と視線を合わせると相手の顔に「死線」が見える志緒。そんな彼女がある日、秀桜高校文芸部の卒業生に同時に「死線」を見た。防ぐことのできる死を回避させるのが「僕」の役割である。僕と彼女だけができる世界の救い方。2人は無事に卒業生たちを救うことはできるのか。彼らの運命は？

『ママがもうこの世界にいらなくても～私の命の日記～』

遠藤和 著 小学館

205HR図書委員

21歳で大腸がんステージIV宣告、22歳で結婚、命がけの妊娠と出産、最期まで諦めなかった闘病。この本は、和さんがまっすぐに生きた24年間の記録です。

私がこの本と出会ったきっかけは、「1億人の大質問!?笑ってコラえて!」の結婚式の旅を視聴したからです。私は和さんの、がんと懸命に闘う姿や1日1日の幸せを手放さないように生きる姿、そして夫の将一さんの優しさと強さと愛に思わず泣いてしまいました。この本は、私たちに生きていくうえでの“大切なこと”を教えてください。「愛する人を守るために生きる。」和さんと夫の将一さん、そして娘との三人四脚の日々の軌跡の記録をぜひ一度読んでみてください。

今後の予定

5/13(金) 放課後休館

5/30(月) 昼休みのみ開館

※ 図書館利用のマナーさえ守ってれば、図書館での過ごし方は人それぞれ。自習するもよし、本を探すもよし、静かな空間を味わうもよし、カウンターの絵しりとりを解くもよし。各自で有効な図書館の利用法を探してください。

